



3Q 株式会社
代表取締役
榎原 克

愛知県あま市出身。幼少期に父親と共に訪れたアマチュア無線機のイベントで改造車と出会い、車に関心を持つように。高校卒業後は中日本自動車短期大学に進み、整備士の資格を取得。大手カー用品店での勤務を経て、大手自動車部品メーカーや自動車整備工場などで研鑽を積む。30歳のときに独立し、3Q（株）を立ち上げた。現在は地域貢献活動にも積極的に取り組んでいる。

「車」の困りごとなら何でも対応可能！ 地域への貢献活動にも積極的に挑戦

自動車整備士としての多岐にわたる経験を駆使し、こだわりを持って修理や整備に努めることをモットーとする3Q（株）の榎原克社長。現在は地元への貢献活動にも積極的に力を注いでいる同氏の話に、元ボクシング世界王者の畑山隆則さんも大きな感銘を受けていた。

幼少期から車に関心を抱く

畑山 榎原社長は、車関連の事業を多岐にわたって手がけていらっしゃるそうですね。もともと車がお好きだったのでしょうか？

榎原 はい。小学生の頃から車が好きでした。というのも、私の父親はアウトドアが趣味で、車にアマチュア無線機の機材を積み、家族をいろいろなところへ連れて行ってくれたんです。季節ごとに開かれるアマチュア無線機のイベントにもよく行きました。そこには、車を思い思いに改造しているキャンパーたちが集まっていて、それぞれの個性が感じられる車と、車の改造やアウトドアを楽しむカッコいい大人たちに自然と憧れを抱く

ようになったんです。高校卒業後は中日本自動車短期大学に進学し、大学卒業後は大手カー用品店に就職しました。ただ、そこではオイル交換やタイヤ交換といった基本的なメンテナンス業務のみを請け負っていたため、「もっと整備士として幅広い業務に携わりたい」と思うようになったんです。また、複雑な構造の車を触るたびに、「この車を設計した人は整備現場のことを何も知らないのでは」と疑問を抱くようにもなりました。そこで、お客様にも整備士にもメリットのある構造のわかりやすい車を設計しようと決意し、前職を退職しました。

畑山 それからすぐに独立されたのでしょうか？

榎原 いえ、その後は知見を深めるため



に大手自動車部品メーカーで働き、部品の品質評価などに携わってきました。その中で、設計部門で働く方と意気投合したんですよ。その方と交流を深めていくうちに、品質評価部門と設計部門の橋渡しをする役割を担うようになったんです。ただ、そこでは派遣社員として働いていたので、得られる給与に限界があります。仕事には満足していたものの、もっと稼げる現場で経験を積みたいと考えて、自動車整備会社に転職したんです。そうして多岐にわたって技術を磨き続け、30歳のときに独立を果たしました。

畑山 独立してみて、いかがでしたか？

榎原 ありがたいことに、既存のお客様が口コミを広げてくれたり、リピーターとなってくれたりしたおかげで事業を軌道に乗せることができました。それは、以前私がお世話になっていた会社の社長さんからのアドバイスを生かした結果だと思っています。「独立してから10年経つまで一見のお客さんに頼らず商売したほうが良い」という教えのもと、チラシを配ったり情報誌に広告を出したりせず、既存のお客様とのご縁を生かして事業を進めてきました。支えてくださっている皆様には本当に感謝しています。

こだわりを持って修理や整備を進める

畑山 では、3Q（株）さんの事業の内容について詳しく教えてください。

榎原 当社では、車に関することであれ

ば何でも対応できるよう体制を整えていて、中古・新車販売から車検整備、保険修理までを行っています。最新の自動ブレーキや安全装置が付いたお車の整備ができる環境である「特定認証工場」の許可も取得しました。

畑山 車のことで困ったら相談できる3Q（株）さんのような存在があることは、車好きの方にとっても車に詳しくない方にとっても心強いことだと思います。

榎原 ありがとうございます。実は、「トータルカーショップ」と謳い文句を掲げながらも板金や塗装、車検などを外注しているところが多く、自社で車に関するサービスをトータルに手がけている会社はほとんどないんですよ。しかし当社は板金・塗装をはじめ足らない設備や機材は積極的にそろえ、責任を持って始めから終わりまで対応させていただいています。私を受けたご依頼は、私自身で修理したいという気持ちが強いんです。

畑山 こだわりを持って仕事を進めている感じが伝わってきます。

Guest Comment>>

畑山 隆則（元ボクシング世界王者）

車への愛情に溢れ、何事も自分の手でこだわり抜いて仕事に励む榎原社長。「お金で買えないつながりを生み、人々が幸せを感じる瞬間を増やしたい」とお話ししてくださいました。地元の愛知県あま市に恩返しするべく、新たな取り組みにも挑戦している姿勢は素晴らしいと思います。これからもその素敵なお人柄で、あま市を元気にしてくださいね。



榎原 とはいえ、1人ですべての車の修理や整備をすることは現実的に不可能です。それでも、まずは私にできる限りのことはさせていただいて、どうしても無理な場合や、専門の職人の方に依頼したほうが仕上がりの質が良いと判断した際には私自身が信頼できる外注さんをお願いしています。

地元への恩返しを目標に躍進し続ける

畑山 ここまでお話をうかがい、社長が事業に込めている熱い思いに感銘を受けました。順調に躍進する社長の充実ぶりも伝わってきましたよ。とても楽しく働いていらっしゃるようですね。

榎原 ええ。また、私が子どもの頃に憧れを抱いていた父の仲間の方たちも当店に来てくれるんですよ。「カッコいい大人だな」と遠い存在のように感じていた皆さんが来てくれるのは、とても感慨深いものがありますね。無線機や発電機の修理も頼まれるなど大変なときもありますが、地元である愛知県あま市で事業を立ち上げて良かったと強く思うんです。

畑山 今後についてはいかがですか？

榎原 会社を大きくしていくことにこだわらず、周囲の方々に幸せを広げるべく技術を磨いたり、地域貢献活動をしたりしていきたいと思っています。その先駆けとして、サッカーボールなどをプレゼントしているんですよ。そのようにして、車に関わるだけでなくさまざまなことに挑戦し、地元へ恩返しすることが私の人生の目標です！